

## 声

この「声」欄は、学内外の方からの環境管理センターへの要望や意見、環境管理、環境一般に関する意見を掲載するものです。本号では、平成4年度水質管理員情報交換会（平成4年6月23日）で実施した「水質管理に関するアンケート」でお寄せいただいたセンターへの要望点などを掲載することになりました。

環境管理センターでは、これらの貴重な意見ができるだけ反映できるよう、業務を推進していきたいと思います。最後になりましたが、アンケートにご協力くださった方々にお礼を申し上げます。

### 「水質管理に関するアンケート」から

#### 【部局水質管理・水質異常時の対応等の問題点について】

- Q1：異常発生を起こした研究室を特定して、注意をしたほうがよいのでは？（3件）
- Q2：部局検水槽の数を増やせば、異常発生源がつかみやすくなるのでは？
- Q3：一部の非協力的な教官の指導する学生の所から異常発生が生じているような気がするので、これらの発生源が直ちに認知できるシステムを考えるべきだ。
- Q4：異常発生時に直ちに通知がなされる訳ではないので、発生源となる当事者を同定することが不可能である。特にBODの異常通知は早急に通知してほしい。
- Q5：管理体制が複雑で異常発生源を特定しにくい部局があるのでは？
- Q6：pH、BOD、CODと同時に排出される汚濁物質の特定が必要なのでは？定期分析の際には排水中の成分調査を行わなければ、公共用水に流せないのでは？
- Q7：水質異常の原因が不明の場合が多いので、センター職員の教室立入検査を実施してはどうか。
- Q8：在学の短い研究生や留学生等への指導と理解を徹底させる手段が必要なのでは？（2件）
- Q9：各部局の水質データを各部局の掲示板に掲示してはどうか。
- Q10：コンクリート水槽のアルカリの影響が若干あるので、放流が遅ればpHが変化するのでは？
- Q11：大腸菌群は夏場に貯留すれば増殖するのでは？

### 【部局とセンターとの共同業務について】

- Q 12: 定期分析採水の立会いは部局, 岡山市採水の立会いはセンターで担当してほしい。
- Q 13: 岡山市採水の部局立会いは省略あるいは当番制で願いたい。
- Q 14: 夏の共同業務は事務の方が行って下さるのでわかりません。
- Q 15: 部局pH計等, 多くの水質監視機器のメンテを全てセンターでやって頂き申し訳なく思っています。

### 【その他について】

- Q 16: 部局に対する水質管理の講習会を毎年4月初めに行ってほしい。
- Q 17: 研究室に「生活排水系の流し」がほしい。
- Q 18: 水質測定結果の報告書の流れは, センター → 部局 → センター → 学長になっているが異常のない場合は, センターからの通知で省略できないか?
- Q 19: 具体的(合併処理槽の処理の流れ等を写したビデオ)なものを見せてほしい。
- Q 20: 言葉の内容が少々難解だったので, 言葉説明を参考付録として添付してほしい。
- Q 21: オゾン層破壊問題の解決のためには, 大気の監視もしなくてはならないのでは?
- Q 22: ただ廃液処理・水質監視だけではなく, 技術的な検討あるいは研究の進めやすいセンターにしなければ伸びないのでは?
- Q 23: センターの日常のご努力に敬意を表します。(数件)。